

福岡県における 周産期医療の特徴と問題点

九州大学病院 産科婦人科

村田 将春



人口 504万7000人
(第9位)

出生数 4万5897人
(第7位)

出生率 9.1/人口千人
(第3位)

年間出生数

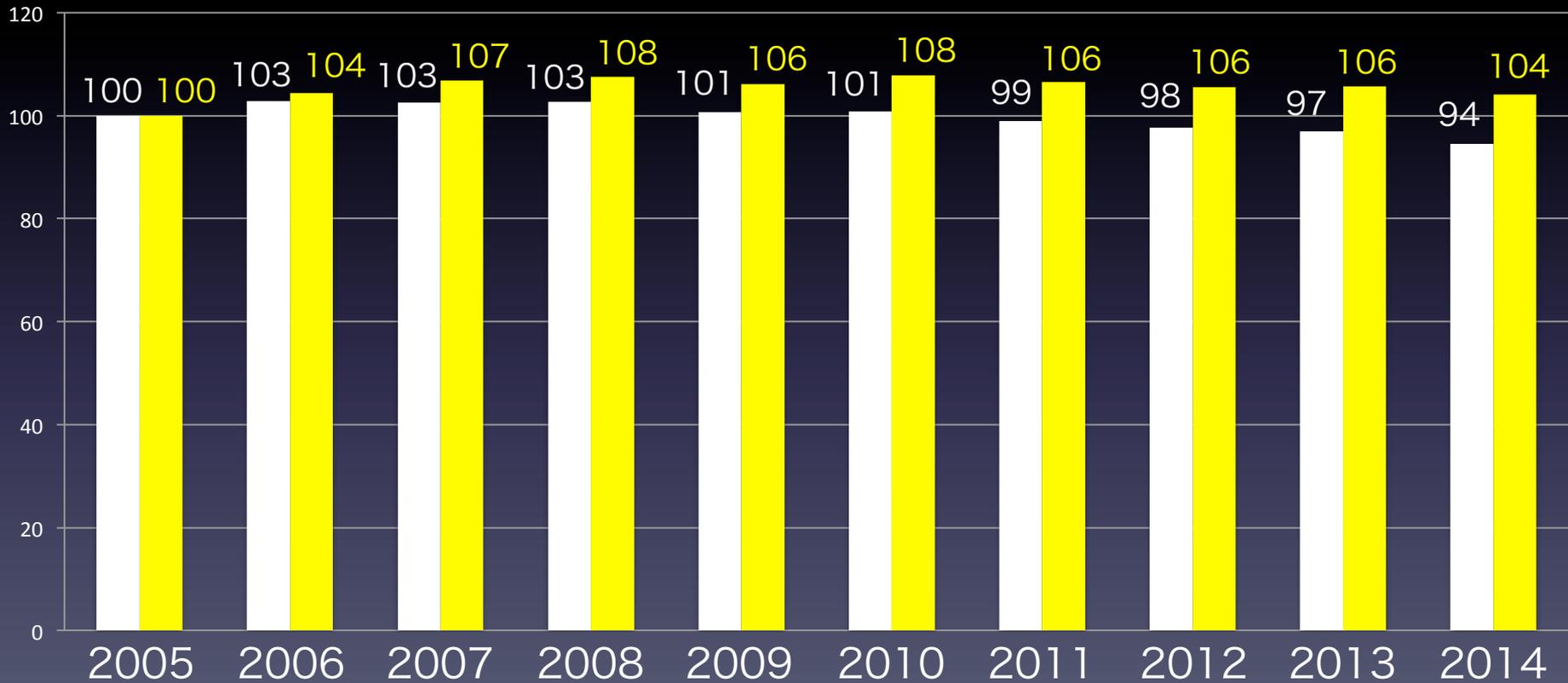
	2005	2006	2007	2008	2009
全国	1,062,530	<u>1,092,674</u>	1,089,818	1,091,156	1,070,035
福岡県	43,421	45,304	46,393	46,695	46,084

	2010	2011	2012	2013	2014
全国	1,071,304	1,050,806	1,037,231	1,029,816	1,003,539
福岡県	<u>46,818</u>	46,220	45,815	45,897	45,203

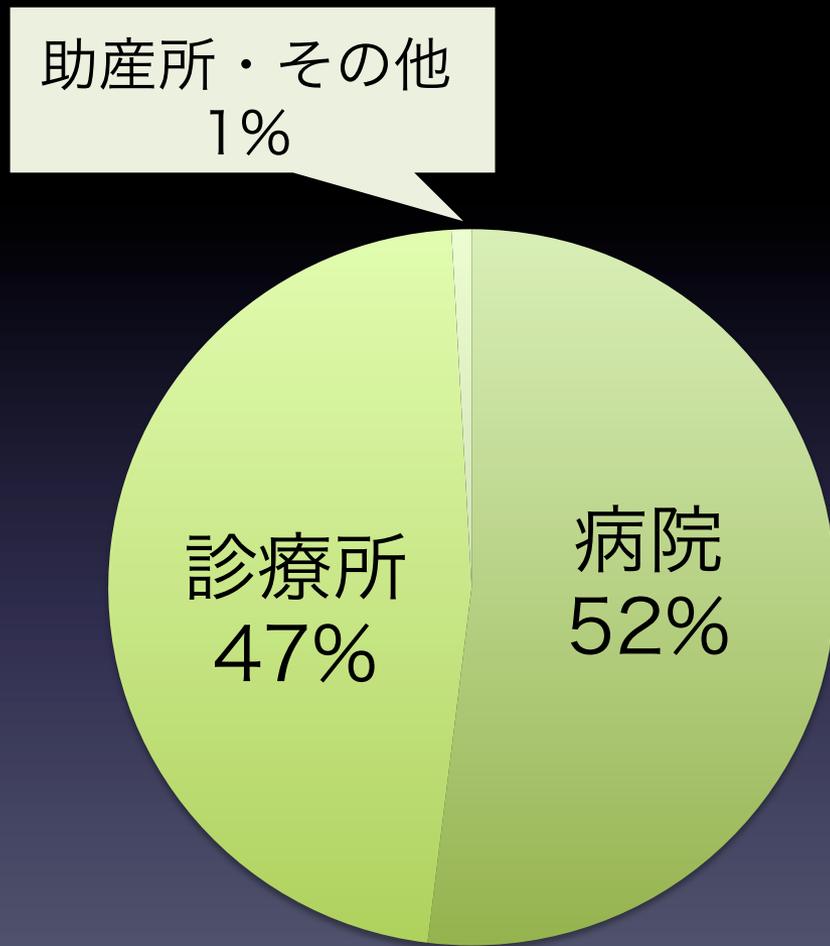
出生数の推移（対2005年）

■ 全国
■ 福岡県

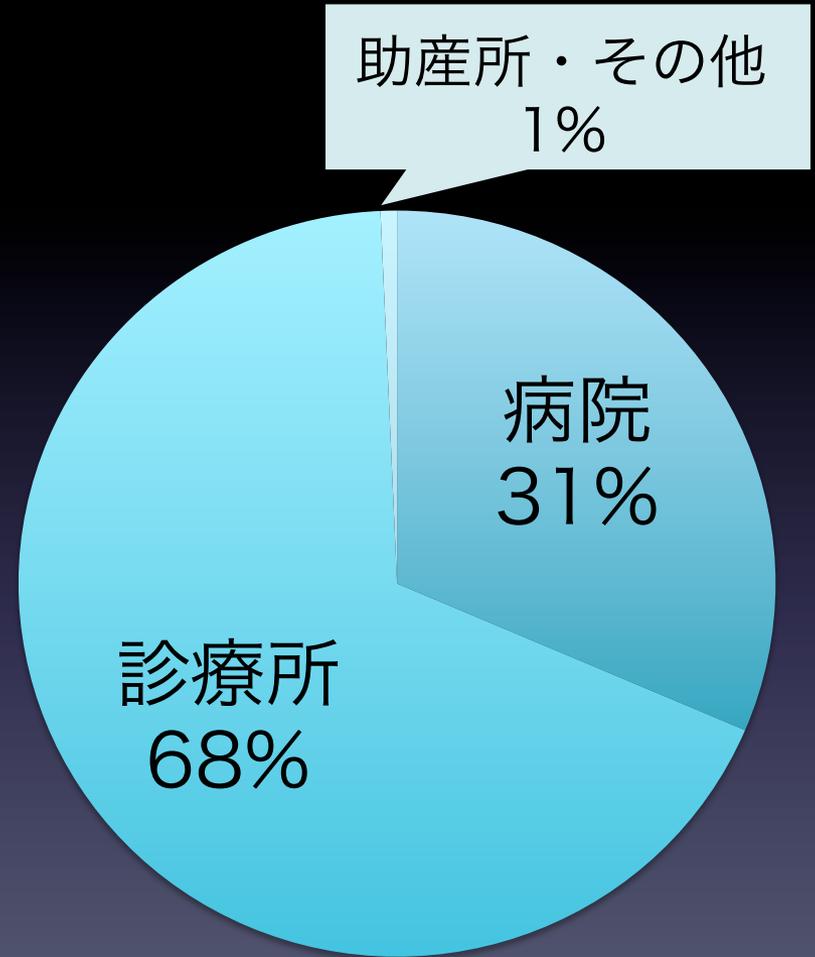
[%]



分娩の場所別にみた出生割合

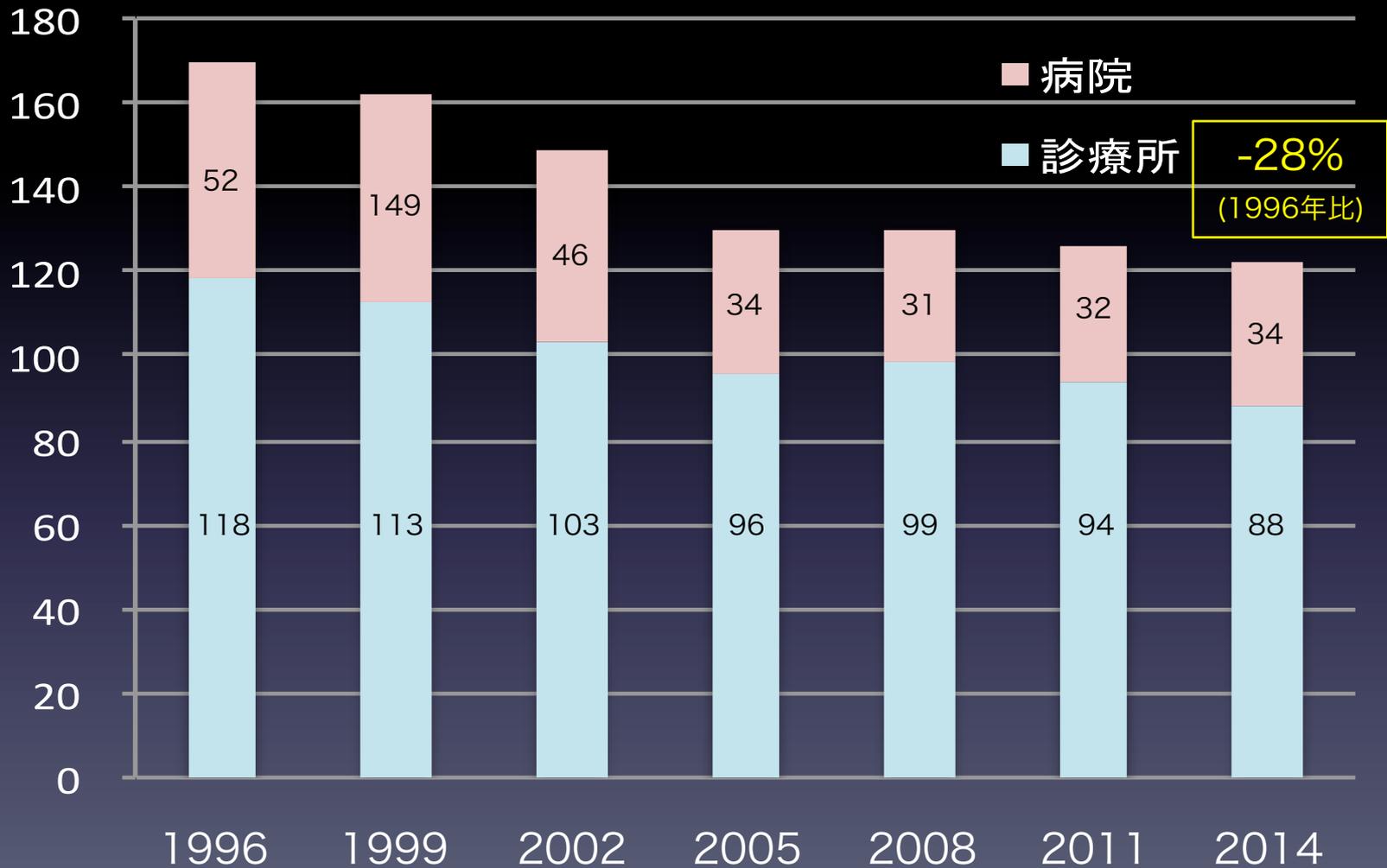


全国 2010年



福岡県 2010年

福岡県分娩取扱い施設数



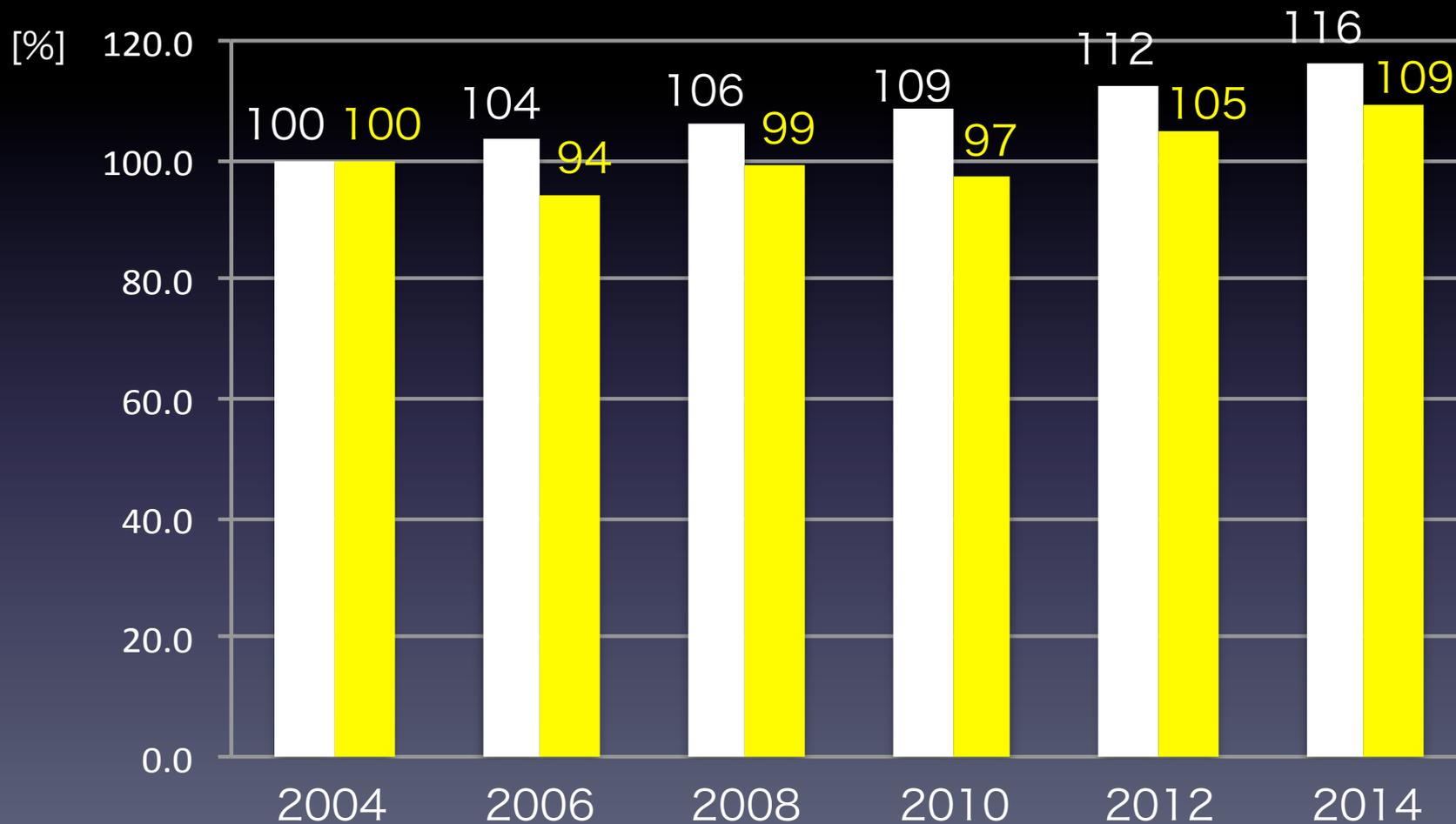
産婦人科医師数

	1996	1998	2000	2002	2004
全国	11,576	11,862	11,974	12,487	12,807
福岡県	496	487	465	481	439

	2006	2008	2010	2012	2014
全国	13,281	13,557	13,907	14,391	14,912
福岡県	481	439	412	435	475

産婦人科医師数の推移（対2004年）

■ 全国
■ 福岡県



産婦人科医師数と出生数 (2014)

全国

福岡県

産婦人科医師数

11,085

479

出生数

1,003,539

45,203

産科婦人科医
1人あたりの出生数

90.5

94.4

福岡県分娩取扱い常勤医師数 (2015)

	総数	男性	女性
--	----	----	----

	383	279(73%)	104(27%)
--	-----	----------	----------

うち、60歳以上	<u>84(22%)</u>	83	1
----------	----------------	----	---

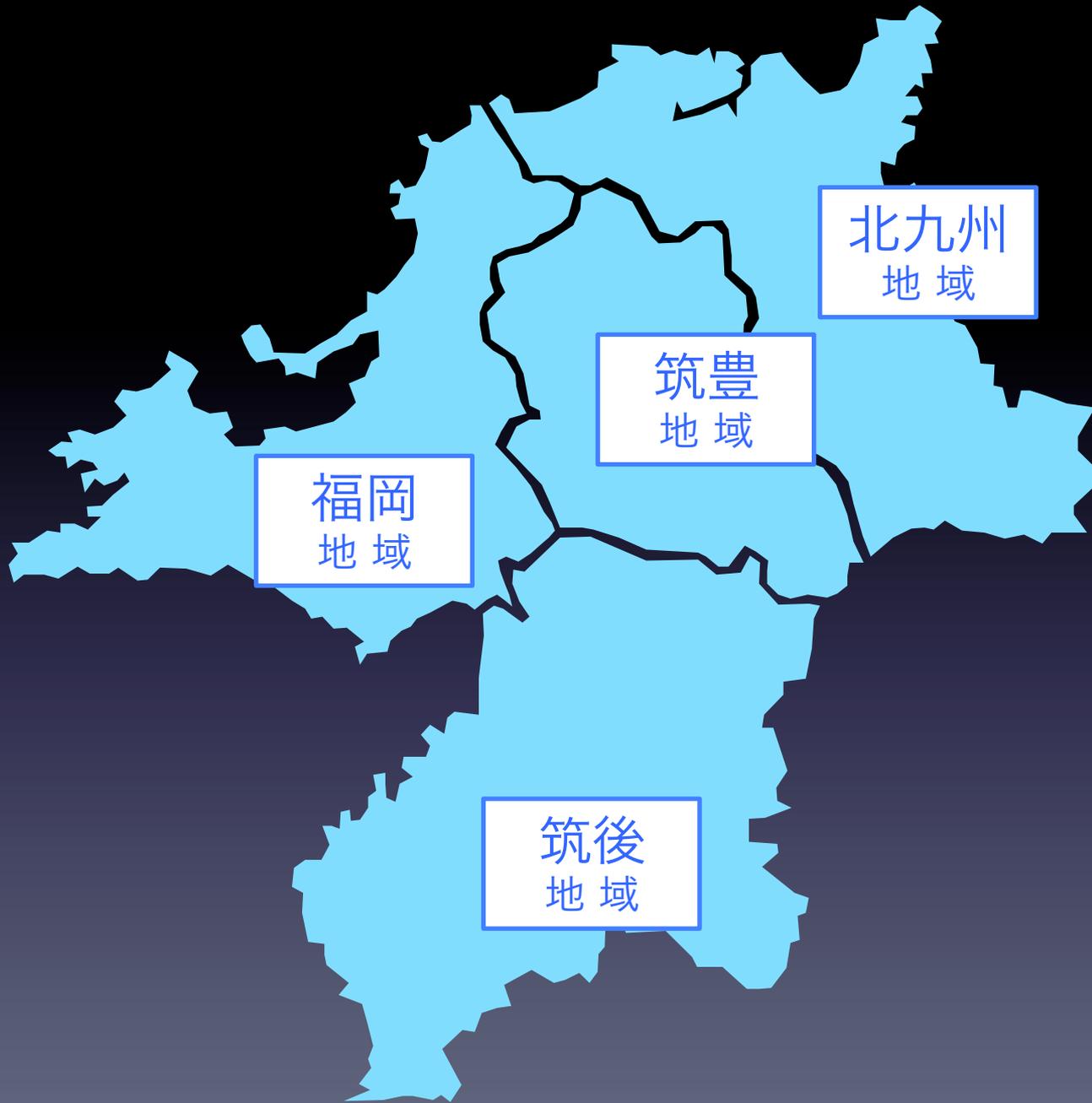
夜勤不可	<u>38(10%)</u>	16(6%)	<u>22(21%)</u>
------	----------------	--------	----------------

山口県

◎ 人口 \geq 100万

○ 人口 \geq 10万





福岡
地域

筑豊
地域

筑後
地域

北九州
地域

福岡県の周産期センター

			NICU(床)	MFICU(床)
福岡 地域	総合	福岡大学病院	15	7
	総合	九州大学病院	18	6
	地域	九州医療センター	9	—
	地域	徳洲会福岡病院	18	—
	地域	福岡市立こども病院	12	—
北九州 地域	総合	北九州市立医療センター	9	6
	総合	産業医科大学大学病院	15	6
	地域	JCHO九州病院	15	—
	地域	小倉医療センター	12	—
筑後 地域	総合	久留米大学病院	12	9
	総合	聖マリア病院	33	12
筑豊 地域	総合	飯塚病院	9	6
合 計			189	231

福岡 地域

出生数 24,304

分娩取扱い常勤医
1人あたりの出生数 132

60歳以上の常勤医 19%

夜勤不可の常勤医 11%

九州医療センター

地域

◎
福岡市

○
糟屋郡

地域

福岡市立こども病院

総合

九州大学病院

地域

○
春日市

徳洲会福岡病院

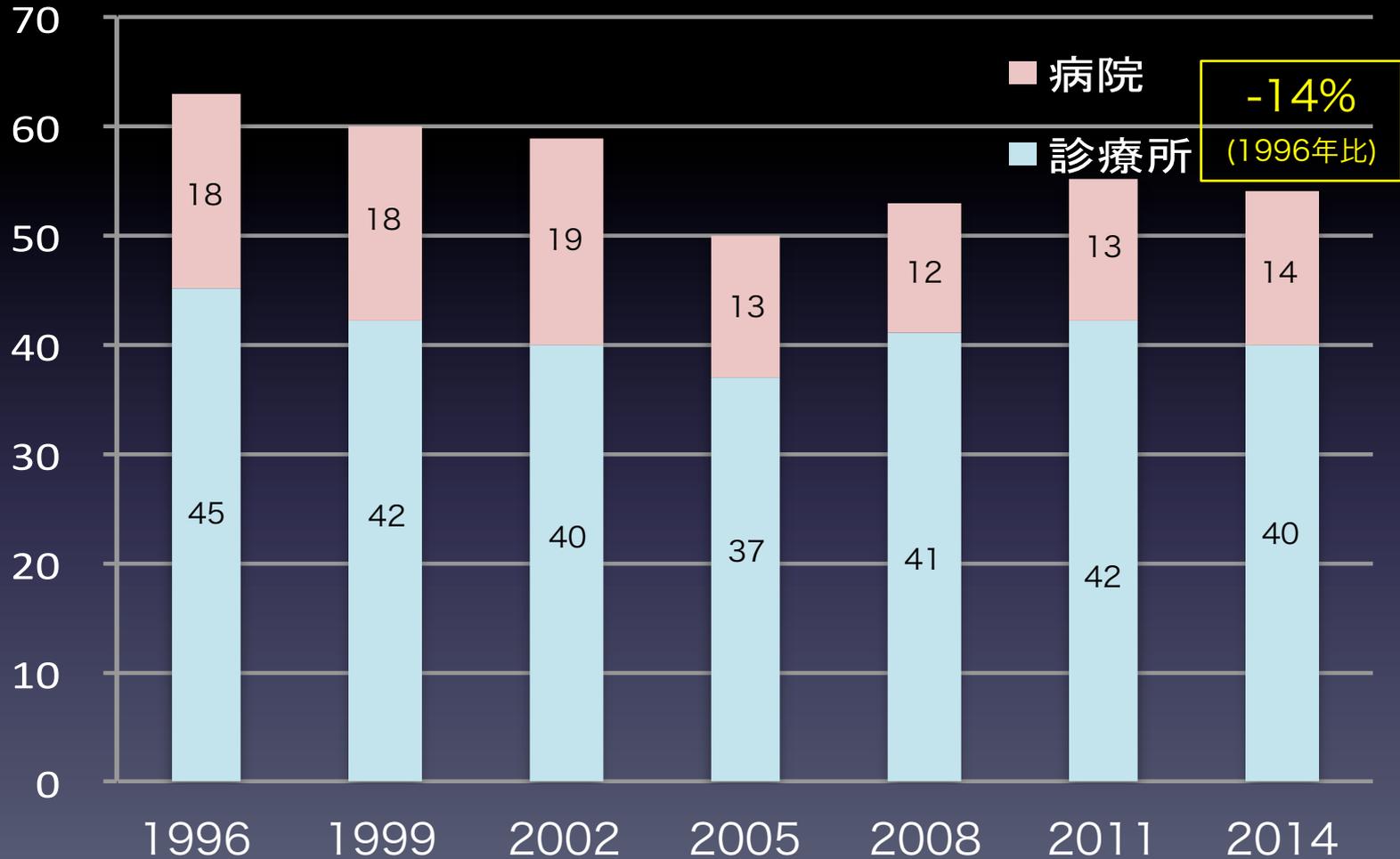
福岡大学病院

総合

○
筑紫野市

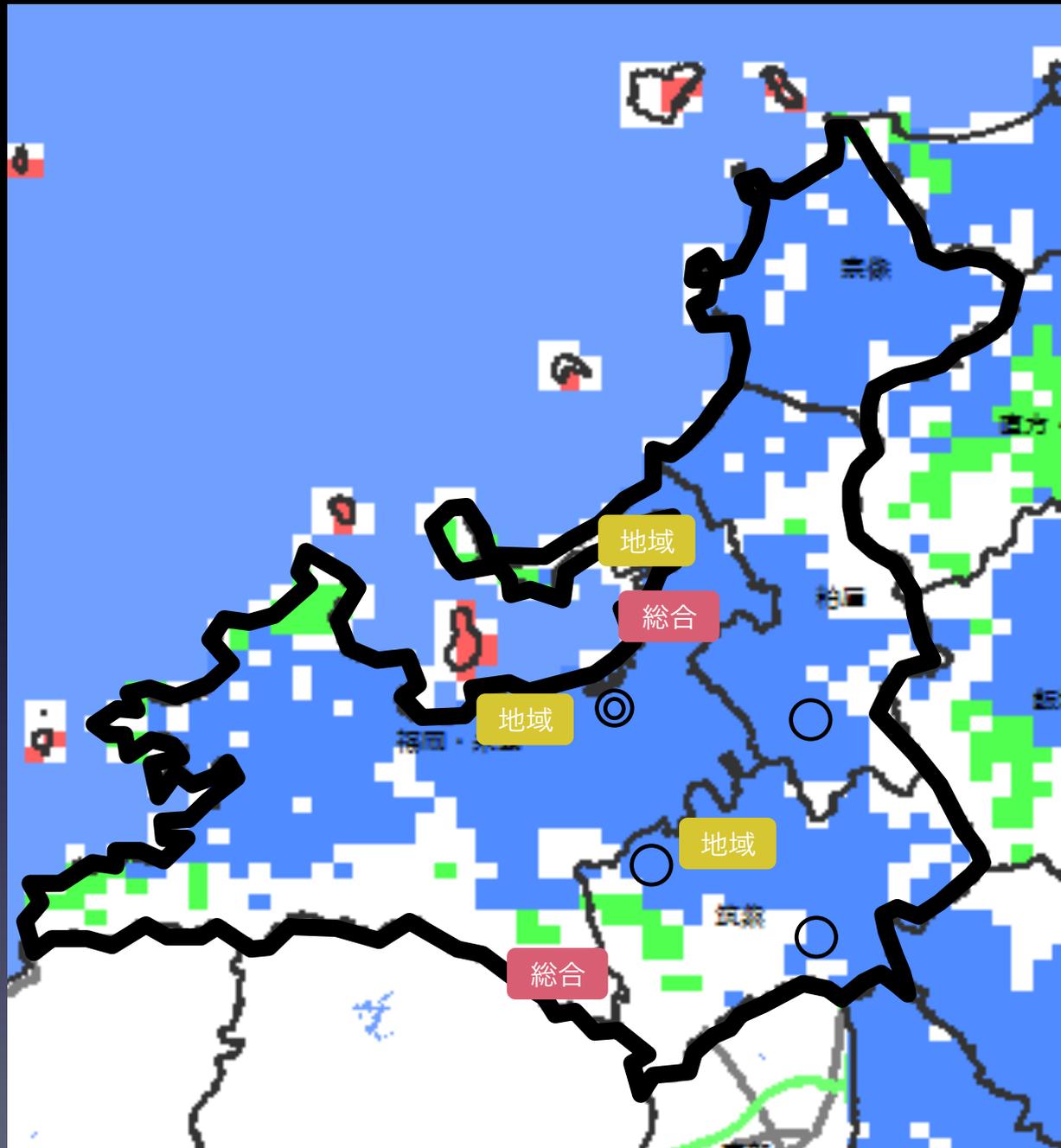
福岡 地域

分娩取扱い施設数



福岡 地域

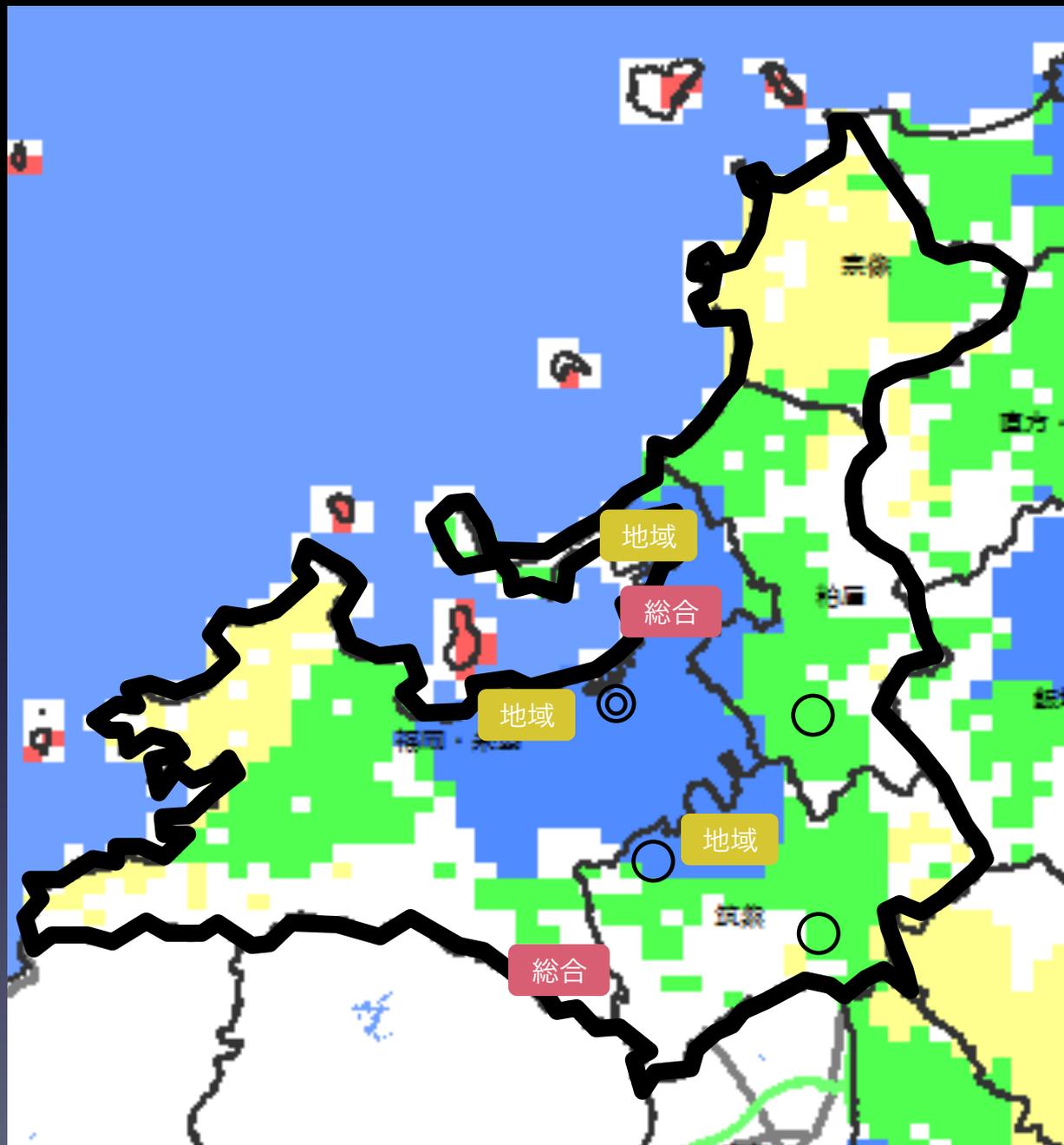
分娩医療機関
までの所要時間



福岡

地域

周産期センター
までの所要時間



北九州 地域



出生数 19,971

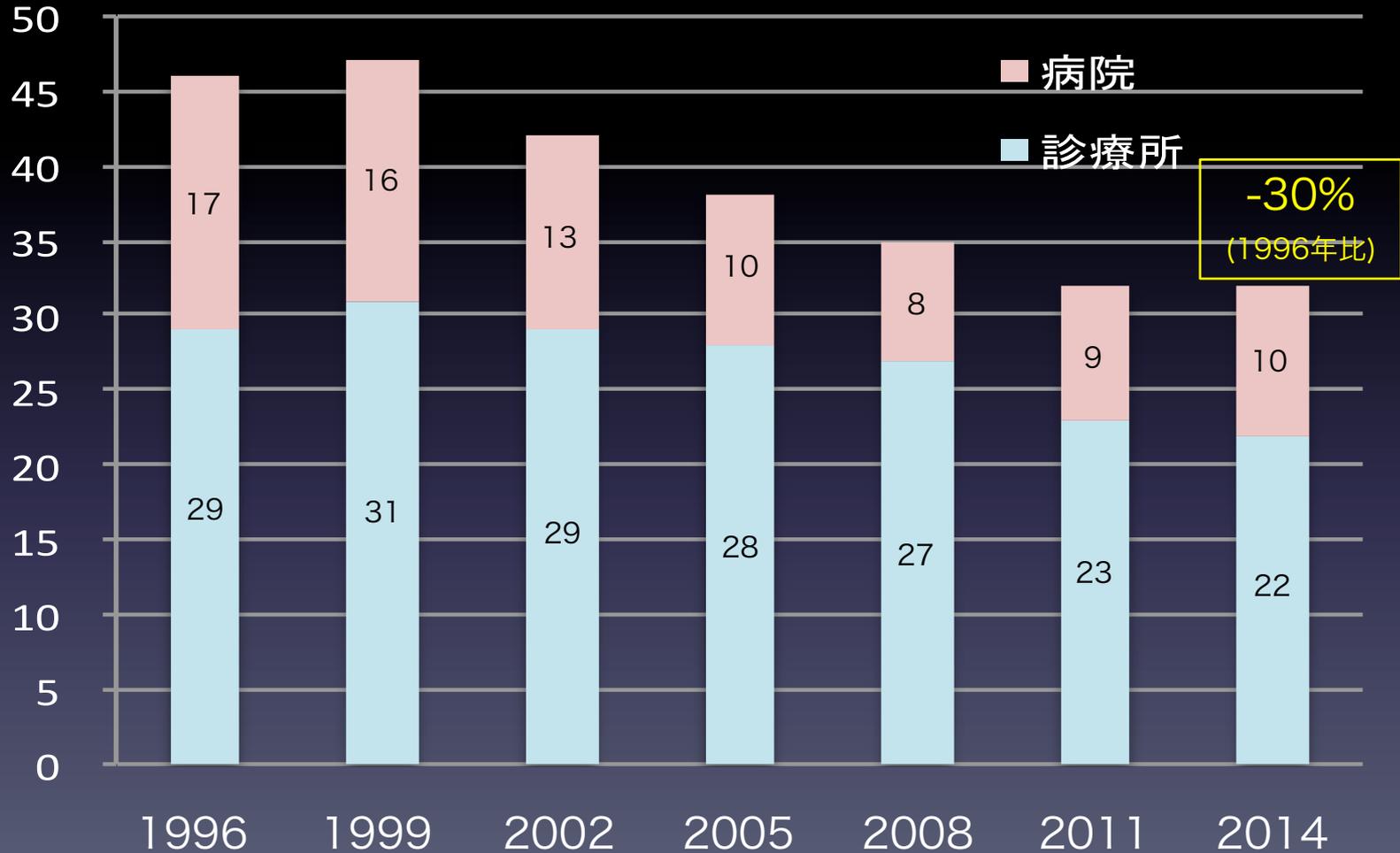
分娩取扱い常勤医
1人あたりの出生数 121

60歳以上の常勤医 24%

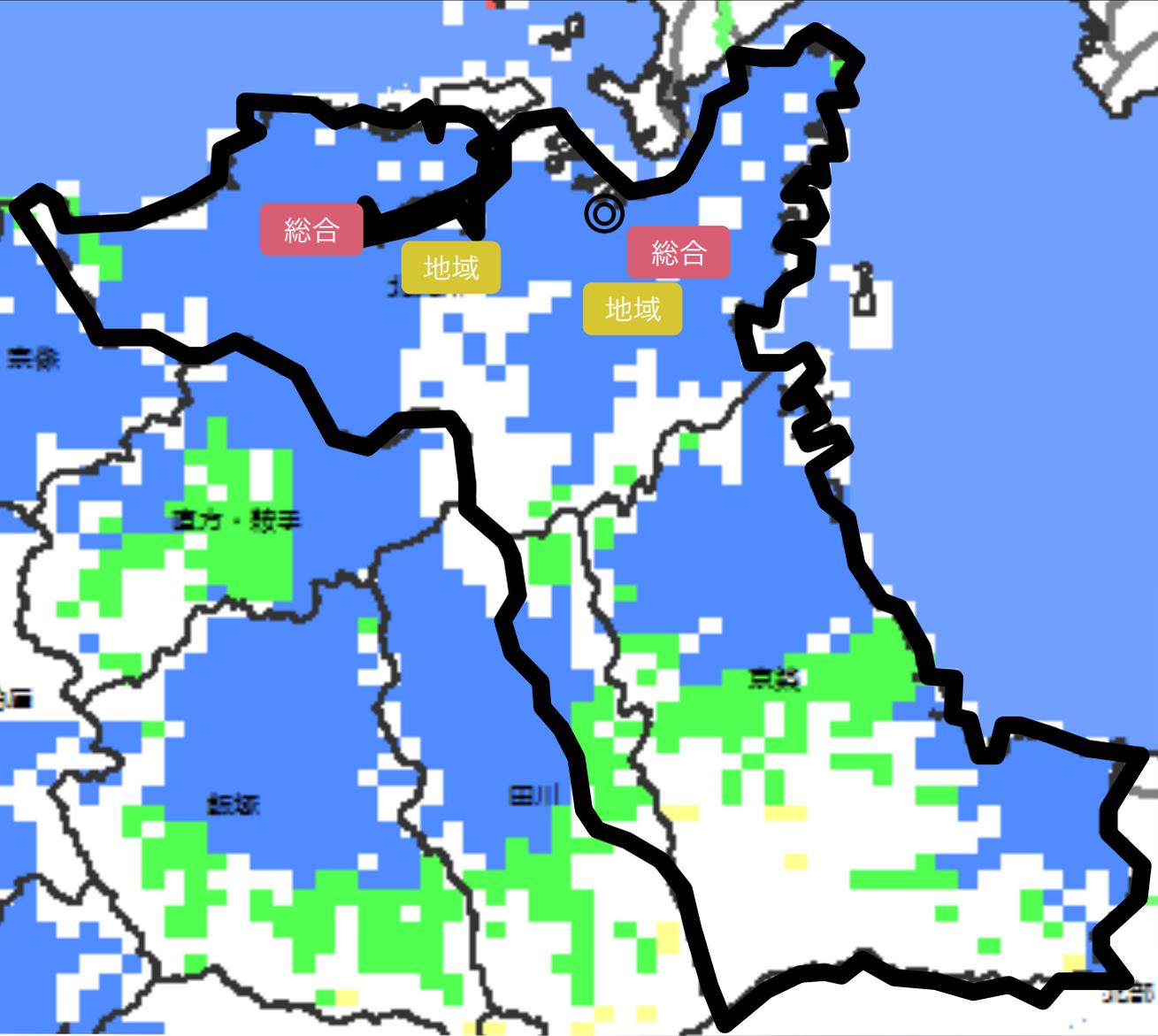
夜勤不可の常勤医 13%

分娩取扱い施設数

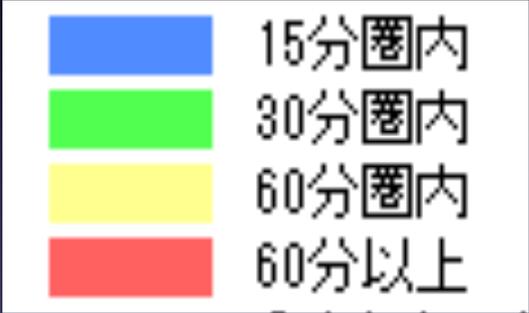
北九州
地域



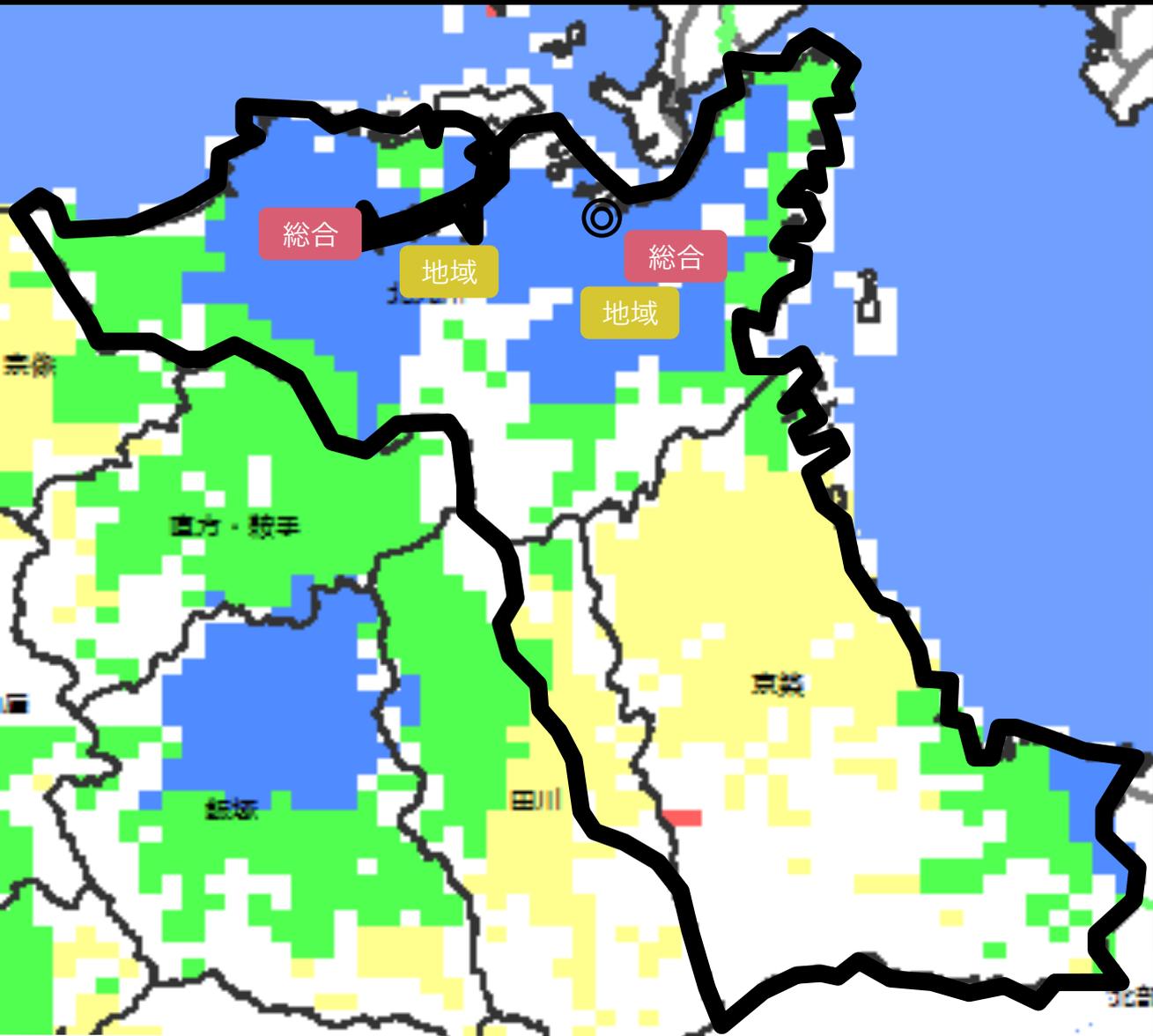
北九州 地域



分娩医療機関
までの所要時間



北九州 地域



周産期センター
までの所要時間



筑後 地域

総合 久留米大学病院

○久留米市

総合 聖マリア病院

大牟田市
○

出生数 7,495

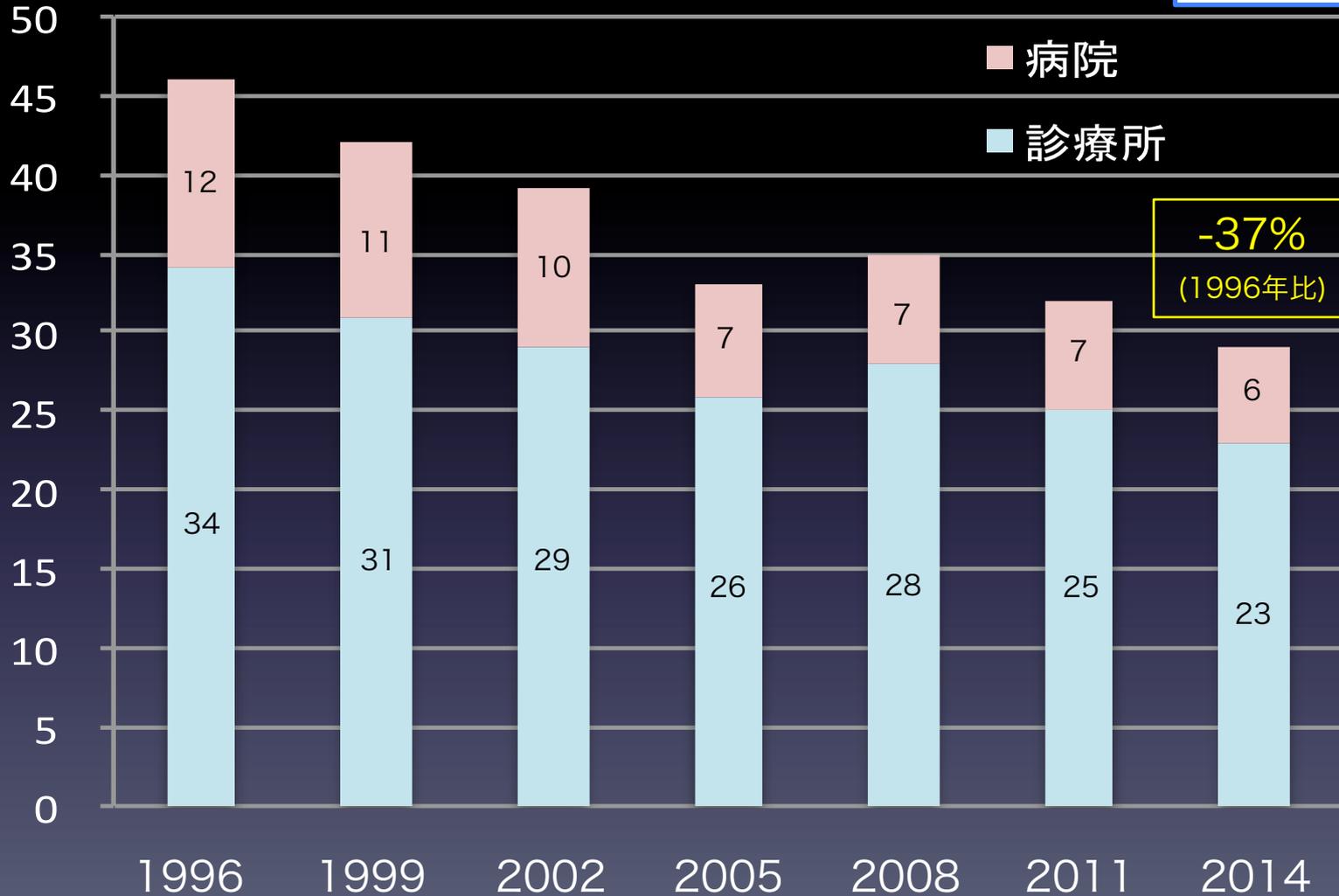
分娩取扱い常勤医
1人あたりの出生数 119

60歳以上の常勤医 32%

夜勤不可の常勤医 5%

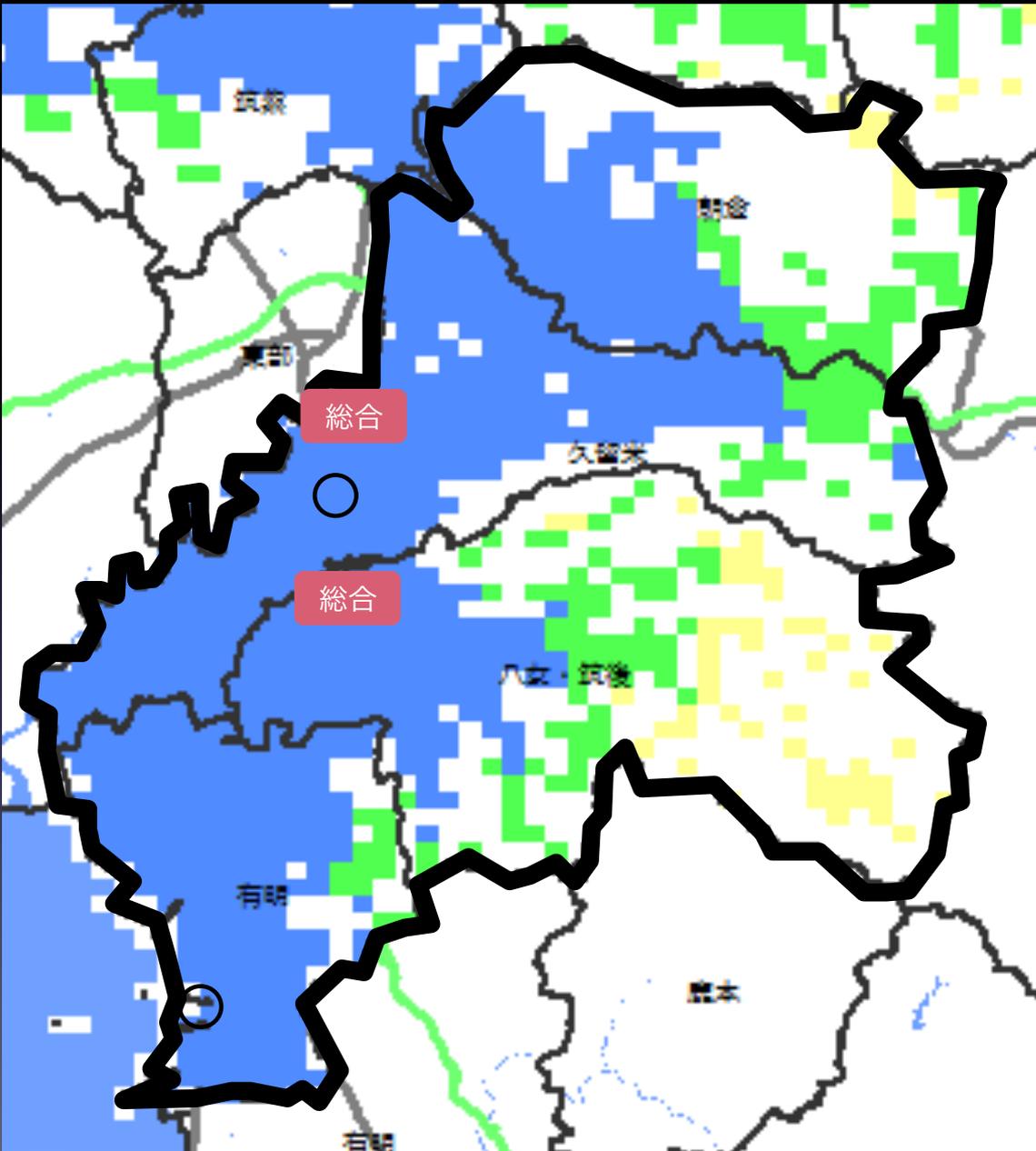
分娩取扱い施設数

筑後
地域



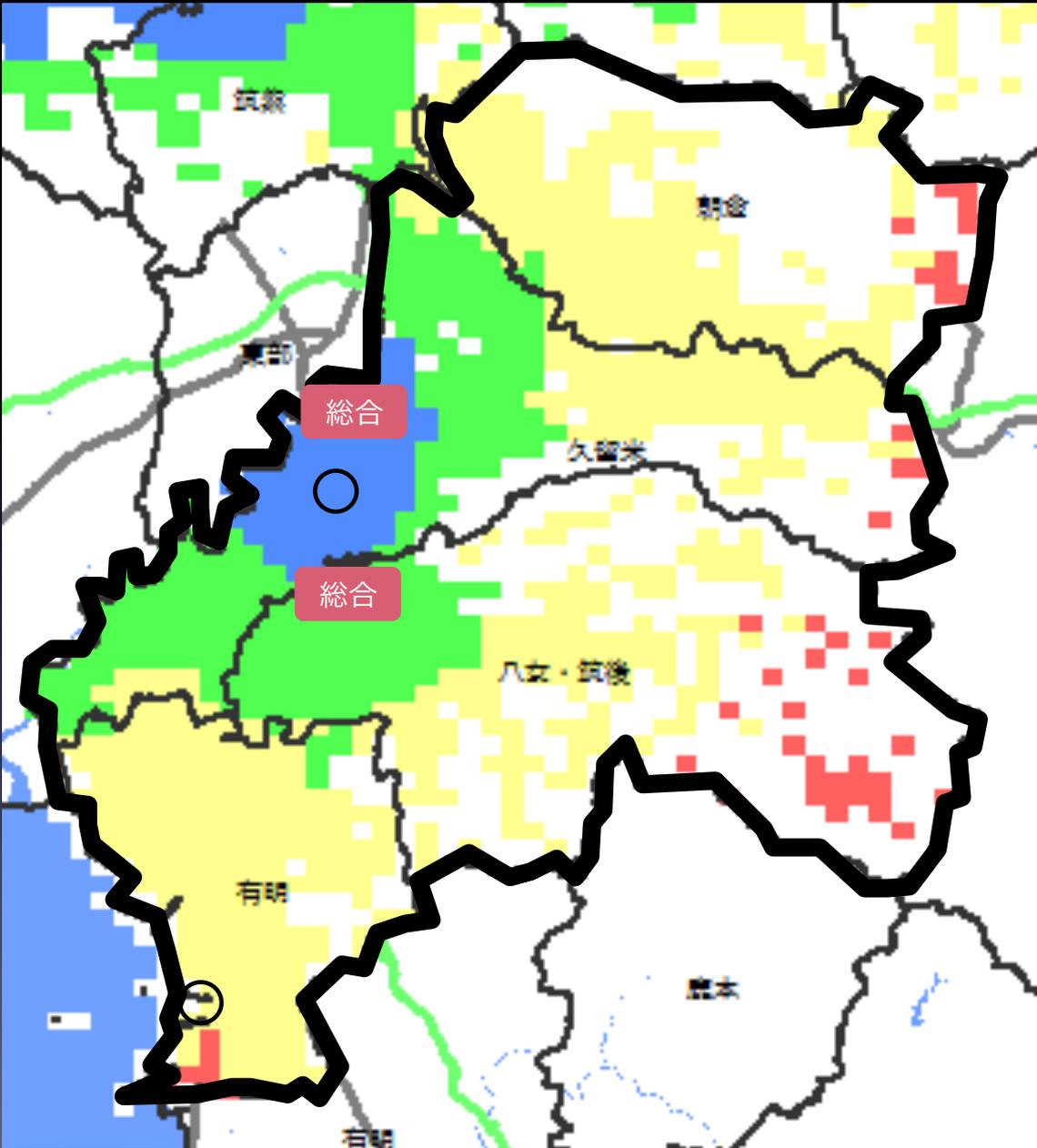
筑後 地域

分娩医療機関
までの時間



筑後 地域

周産期センター
までの時間



筑豊 地域



出生数 3,402

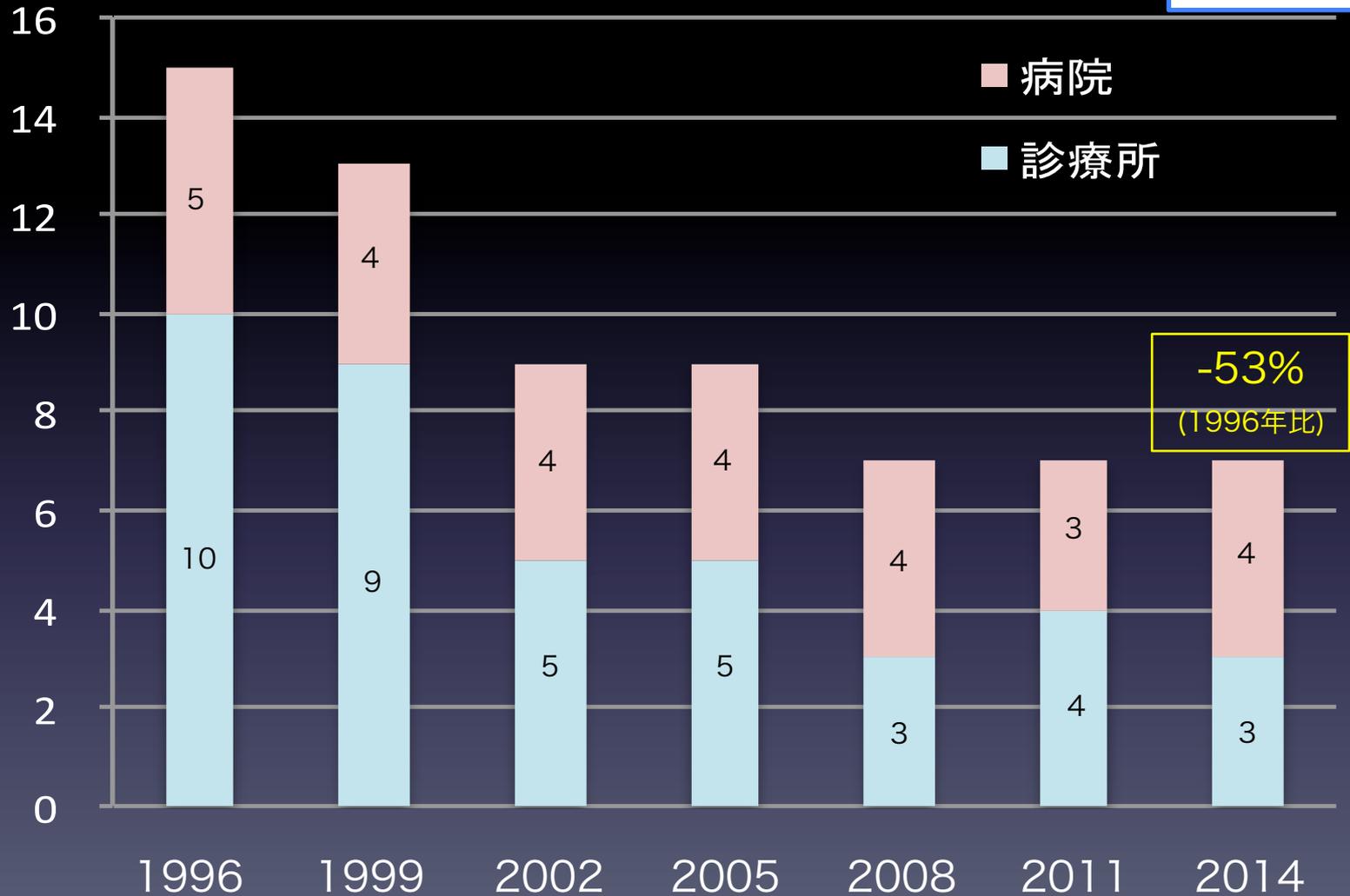
分娩取扱い常勤医
1人あたりの出生数 142

60歳以上の常勤医 8%

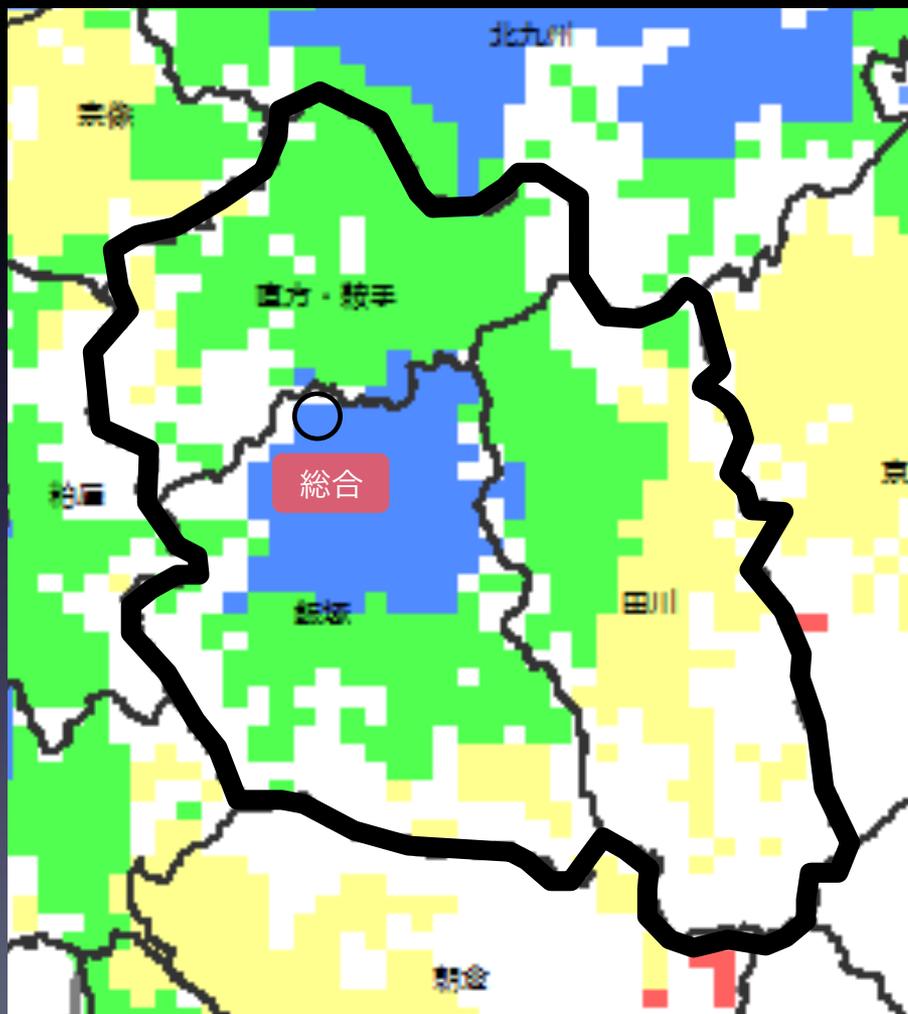
夜勤不可の常勤医 4%

分娩取扱い施設数

筑豊
地域



筑豊 地域



周産期センター
までの時間



福岡県の周産期医療の特徴

- ✓ 全国平均に比べて、出生数の減少は緩やかで、かつ産婦人科医師数の増加は乏しい。
- ✓ 診療所での出生が約70%を占める。
- ✓ 分娩取り扱い常勤医のうち、60歳以上が20%以上を占め、当直不可が約10%を占める
- ✓ 4つの医療圏にわかれており、周産期センターへのアクセスや医療資源の問題点は異なる。

福岡県の周産期医療の問題点

- ✓ マンパワーの脆弱化が懸念される地域がある。
- ✓ 周産期センターへのアクセス不良の地域がある。

第一回福岡産婦人科医療重点化プロジェクト ワーキンググループ

平成28年1月19日

- ✓ 高次（二次・三次）施設への搬送時間は全分娩取り扱い施設において30分以内を目標とする。
- ✓ 四大学が連携し、高次施設へ弾力的なマンパワーの供給を図る。
- ✓ シミュレーションにより必要な施設やマンパワーの配置を検討する。

ご静聴ありがとうございました。